

平成10年度 富山県文化ホールネットワーク公演事業

合唱団 おおやま メサイアを歌う



と き 8月30日(日) 13時30分開場
14時開演

ところ 大山町民文化会館大ホール

主催／富山県・大山町・大山町教育委員会・合唱団おおやま

共催／北日本新聞社

後援／大山町商工会・JA大山中央

富山県・大山町の助成金により低料金で鑑賞できます

《プログラム》

1. 序曲 (オーケストラ)
Sinfonia
- <Part1>
2. アリオゾ (テノール)
Comfort ye, My people
3. アリア (テノール)
Every valley shall be exalted
4. 合唱
And the glory of the Lord
5. 合唱
And He shall purify the sons of Levi
6. レチタティブ (アルト)
Behold, a Virgin shall conceive
7. アリア (アルト), 合唱
O thou that tellest good tidings
8. アリオゾ (バス)
For behold, darkness shall cover the earth
9. アリア (バス)
The people that walked in darkness
10. 合唱
For unto us a Child is born
11. 田園交響曲 (オーケストラ)
Pastoral Symphony
12. レチタティブ アリオゾ (ソプラノ)
There were shepherds abiding in the field
13. レチタティブ (ソプラノ)
And the angel said unto them
14. アリオゾ (ソプラノ)
And suddenly there was with the angel
15. 合唱
Glory to God in the highest
16. アリア (ソプラノ)
Rejoice greatly, O daughter of Zion!
17. 合唱
His yoke is easy
==== 休 憩 ====
- <Part2>
18. 合唱
Behold the Lamb of God
19. アリア (アルト)
He was despised
20. 合唱
Surely He hath borne our griefs
21. 合唱
And with His stripes we are healed
22. 合唱
All we like sheep have gone astray
23. アリア (ソプラノ)
How beautiful are the feet of them
24. レチタティブ (テノール)
He that dwelleth in heaven
25. アリア (テノール)
Thou shalt break them with a rod of iron
26. 合唱
Hallelujah!
27. 合唱
Since by man came death
28. レチタティブ (バス)
Behold, I tell you a mystery
29. アリア (バス)
The trumpet shall sound
30. 合唱
Worthy is the Lamb, Blessing and honour,
Amen

《オーケストラ》

オーケストラ・アンサンブル金沢

オーケストラ・アンサンブル金沢は、石川県と金沢市が中心となって設立、音楽監督に岩城宏之氏を迎え、日本初の本格的なプロの室内オーケストラとして1988年11月に発足。世界中からメンバーを集め外国人演奏者も多い。また、オーケストラ設立当時から、日本では最初の専属作曲家による現代曲委嘱初演制度を実施し、CD化する等話題を呼んでいる。

海外公演は、設立2年目にユーロパリア日本文化祭に招待され欧州5都市へ、92、94年には豪州公演。96、97年にはヨーロッパ公演を実施。特に97年のドイツでは、5都市において

故ヘルマン・プライとの共演によるシューベルト「冬の旅」オーケストラ版世界初演を成功させる。

国内公演は、地元金沢での公演はもとより東京、大阪、名古屋においても

定期公演を行っている。94年10月に「飛騨古川音楽大賞」、95年3月には「出光音楽大賞」、96年5月「中日文化賞」受賞。現在最も注目を集めているオーケストラです。



《指揮者紹介》

指揮者 増井 信貴



桐朋学園大学指揮科卒業。岡部守弘、斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、フランコ・フェラーラ、レナード・バーンスタインの諸氏に師事。78年、タンゲルウッド音楽祭に参加し、オーケストラを指揮。82年にはバリ・オペラ座に招かれ、オペラ上演にかかわりつつ研鑽を積んだ。日本でも数多くのオペラ上演に参加、その手腕を高く評価された。89年、文化庁派遣在外研修員としてバイエルン国立歌劇場に留学。ウォルフガング・サヴァリッシュ氏のもとで数多くのオペラ上演に助手として参加した。91年、ウィーン・フィルのメンバーで構成されるウィーン木管ア

ンサンブルと共演。97年、新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で、小オーケストラの指揮を務めた。98年に開催された長野オリンピック開会式の「第九」演奏においては、合唱とオーケストラをまとめる指揮者のひとりとして演奏に携わった。得意とするオペラではこれまでに日本初演「イル・カンパネロ」をはじめ、「フィガロの結婚」「魔笛」「劇場支配人」などを指揮し好評を得ている。また、NHKテレビへの出演やサイトウ・キネン・オーケストラのヨーロッパ公演に副指揮者として同行している。洗足学園大学講師。

《ソリスト紹介》

ソプラノ

加藤 興志子



洗足学園大学音楽学部声楽科卒業、同専攻科修了。大里洋子、アレクサンダー・アレクセイ、ウィリアム・ウーの諸氏に師事。成城教会ソリストとして7年間在籍。首都オペラ公演ヴェルディ「オテロ」のデズデモナ役でオペラデビュー。82年には住まいを富山に移し、東京・富山での音楽活動を続けている。89年にはオペラ研究グループ「トムスタジオ」を開始。富山では、小杉ラポールにてレーゲンスブルク合唱団との共演によるカルミナ・ブラーナ等を公演。主なレパートリーは、「トゥーランドット」リユー、「ラ・ボエーム」ミミ、「アイダ」アイダ等である。

アルト

中田 勝代



入善町出身、4才よりピアノを始める。国立音楽大学教育音楽科卒業。ピアノを中山富美恵、声楽を小野邦代・浅岡光代・志村年子・内山太一氏に師事。富山放送合唱団、富山アカデミー女性合唱団・同重唱団のソリストとして活躍。ヘンデルのメサイアを手始めに、丘声会オペラ「月の世界」「フィガロの結婚」「ジャンニ・スキッキ」など数多くに出演。また、富山市民オペラ「あまんじゃくとうりこ姫」、小柳和行のミュージカルなどに出演し、好評を博す。現在入善混声合唱団事務局長、黒部第九を歌う会のスタッフとして幅広く活躍している。黒部市在住。

テノール

下村 雅人



国立音楽大学声楽科卒業。小林なほみ、布施隆治、アレクサンダー・アレクセイの各氏に師事。現在、佐賀県音楽協会会員、二期会会員として東京を中心に活躍。イタリア声楽コンクール金賞、国際芸術連盟オーディション一位等。大学卒業後、二期会で研鑽を積み、モーツァルトの「魔笛」武士役でオペラ界にデビュー。93年、ハンガリー、ルクセンブルク、ドイツ等にて演奏会に出演、TVや新聞でとりあげられ好評を得る。バスタのTVコマーシャル「青の洞窟」の歌などにも出演。その他にもミュージカルへの出演や、宗教曲のテノールソリストとしても幅広く活躍する。

バス・合唱指揮

内山 太一



武蔵野音楽大学卒。ミュンヘン国立音楽大学卒。今までにシューベルトの「冬の旅」をはじめ、ヴォルフ、シューマン等のドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公演のオペラでは、「マダム・バタフライ」、「カルメン」、「仮面舞踏会」、「ボエーム」等に出演。91年にシューベルトの三大歌曲集「冬の旅」、「美しき水車小屋の娘」、「白鳥の歌」の連続演奏を行う。93年再度一年間ドイツに留学。白井光子、ハルトムート・ヘル両氏のもとでドイツ歌曲の研鑽を積む。発声をアンナ・シェーファー女史に学ぶ。現在、洗足学園魚津短期大学声楽講師。

合唱団おおやま

95年8月に、大山町民を中心に結成。

一昨年、昨年の初演に引き続き、今年も夏の公演をめざして、約1年間、大山町民文化会館ホールで週1回の練習を重ねてきた。

さらに曲目を増やしての第3回の公演である。

ソプラノ

板 直子・岩竹 幸絵・小路万里子・高田 和美・高林 朝子・谷崎キミ子
谷崎 千鶴・谷本真理子・中川 律子・橋場 映子・松井佐奈江・松井千代美
松浦美知代・宮原百合子

アルト

麻島 利子・稲垣 聖子・井上 澄子・片山美富里・加藤 一美・木原千枝子
小泉 康子・柴野 里美・新村まゆみ・高井恵美子・高木 律子・仲井 葉子
野入美津恵・野上真知子・橋本公三英・早水 淑子・平崎 康子・松井 直美

テノール

有沢 龍男・井内 学・渋谷 秀希・東海 廉之・谷崎 修一・東福 光晴
埜崎 友宏・牧 重和・森清 篤実

バス

新井 信・石動 孝一・江種 宏則・大磯 覚昌・窪田 英史・根尾 亮介
野入 豊光・野尻 芳邦・松井 輝・宮元 美信・横山 研

コレペティトウア 板 直子

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。

山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。1994年、第2回国際ピアノデュオ・コンクール（於東京）本選出場、入選。国際ピアノデュオ協会賞受賞。

現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、富山市医師会看護専門学校非常勤講師、国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、アンコール・プリュ主宰。



楽曲解説

オラトリオ「メサイア」は、1741年、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685~1759)が、ロンドンにおいて作曲し、翌1742年、アイルランドの首都ダブリンにおける慈善演奏会で初演された。

「メサイア」とは、ヘブライ語の「メシア」の英語読みで「聖油を注がれた者」、すなわち「救世主」(＝キリスト)の意味である。この台本は、ヘンデルの友人であるチャールズ・ジェネンスが、主に旧約聖書の預言と詩篇、および新約聖書の使徒書簡から選び出した聖句を編纂したものである。「メサイア」は3部から成り、第1部は救世主(メサイア)の来臨によって、世の救いが成就するという旧約の預言と、その神の計画の実現、第2部は、イエスという犠牲による救いの成就と、それを拒否する人間の罪の姿、第3部は、イエスの復活と、それによってもたらされた永遠

の生命に対する感謝と讃美を表している。他のオラトリオと違い、登場人物は一切存在しないし、劇的要素もない。

全編のクライマックスは、やはり、第2部の終曲である「ハレルヤ・コーラス」であろう。初演後のロンドンでの演奏会で、時の国王ジョージ2世が、ハレルヤに感動のあまり起立して聞いたことはあまりに有名な故事である。

全編52曲のうち、今回は、合唱曲を中心に30曲をお届けする。クリスマスの頃に演奏されることが多い「メサイア」だが、「真夏のメサイア」によって、あなたに清々しい夏のひとときが訪れんことを。

Glory, to God in the highest, and peace on earth,
goodwill towards men!

いと高きところには神に栄光あれ、地には御心に適う人に平和あれ。